

令和4年度当初予算案のポイント

教育委員会

1 新型コロナウイルス感染症から子どもの命を守る

(1) 新型コロナウイルス感染防止と学びの保障

【令和4年度当初:127,266千円+令和3年度1月補正:249,050千円(令和3年度当初:129,669千円)】
感染防止対策を徹底する上で必要となる保健衛生用品の購入や、特別支援学校に通う医療的ケアを要する児童生徒の通学時の感染リスク低減を図るためのスクールバス増便などにより、児童生徒の学びを保障

2 誰一人取り残さない公正な社会づくり

(1) 不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業、学校生活相談体制充実事業 等

【令和4年度当初:331,602千円(令和3年度当初:320,438千円)】
不登校児童生徒への市町村と連携した支援体制の構築や、その学びや活動を評価する仕組みづくりを行うとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの支援時間やLINE相談窓口の拡充により、児童生徒の支援を充実

(2) 特別支援学校改革事業

【令和4年度当初:96,290千円+令和3年度1月補正:77,105千円(令和3年度当初:53,374千円)】
自立活動教員の増員による各校の専門性の強化、通級指導教室の増設や遠距離通学生とその保護者の負担軽減を図るためのスクールバス増車などにより、特別支援学校改革を推進

(3) 県立高校における長期入院生徒への学習支援事業、高校生等奨学給付金給付事業 等

【令和4年度当初:897,970千円(令和3年度当初:960,189千円)】
長期入院中の生徒や聴覚障がいのある生徒へのICT機器を活用した学習支援、日本語が不自由な外国籍生徒などへの生活支援相談員の配置、生活が困窮している世帯の生徒への奨学給付金の拡充など、特別な教育的ニーズのある児童生徒を支援

3 誰もが主体的に学び続けられる社会づくり

(1) 電子図書館構築事業

【令和4年度当初:38,578千円(令和3年度当初:一千円)】
市町村との協働による電子書籍貸出サービスの導入や、県立長野図書館への学術・専門書の閲覧用電子書籍の導入により、いつでもどこでも学び続けられる環境を構築

(2) ICT教育推進センター事業、ICT学習環境整備事業

【令和4年度当初:67,743千円(令和3年度当初:72,675千円)】
ICTを活用した個別最適化した学びや協働的な学びを推進するため、「長野県ICT教育推進センター」によるICTの授業での活用方法の支援や教員研修の充実を図るとともに、先端的教育用ソフトウェア(EdTech)の活用普及などにより、ICTを活用した学びを推進

(3) 幼児教育支援センター運営事業

【令和4年度当初:6,641千円(令和3年度当初:5,309千円)】
保育者研修体系の構築や幼保小接続カリキュラムの研究・実践に取り組むとともに、実践園7園でのフィールド研修を実施

(4) 学びの改革実践校応援事業

【令和4年度当初:3,860千円(令和3年度当初:4,096千円)】
新たに学校改革に挑戦する小中学校等42校を実践校として指定し、学年担任制の導入やタブレット端末の活用による自由進度学習等の取組を、アドバイザーの派遣等により支援

(5) 県立高校再編実施計画検討事業、県立高校「未来の学校」構築事業

【令和4年度当初:9,285千円(令和3年度当初:7,757千円)】
「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した統合新校の目指す学校像や教育方針など、新たな高校づくりの地域と協働した検討や、「未来の学校」実践校6校において「卓越した探求的な学び」等をテーマとする実践研究を実施

4 脱炭素社会の構築に資する取組み

(1) 県立学校ZEB・デザイン基本計画策定事業、高等学校校舎等計画改修事業、特別支援学校整備事業 等

【令和4年度当初:496,976千円+令和3年度1月補正:1,805,666千円(令和3年度当初:1,491,224千円)】
県立高校統合新校や松本養護学校・若槻養護学校において、ZEB化や探究的な学びに対応したこれからの時代にふさわしい施設整備に着手するための基本計画の策定を行うとともに、老朽化が進む県立学校において快適な学習空間のための施設改修や、生徒自ら取り組む省エネ化に関する改修等への支援を実施

5 コロナ禍を越えたスポーツの振興

(1) 第82回国民スポーツ大会に向けた競技力向上事業

【令和4年度当初:300,000千円(令和3年度当初:220,000千円)】
ジュニア強化拠点クラブへの支援や医科学的サポート体制の充実など、各競技団体の選手強化の取組に対する支援を拡充